

# 2026年12月期第1四半期 決算説明会資料

2026/5/14



## 目次

I	2026年12月期第1四半期決算概要	P	3-13
II	2026年12月期業績予想	P	14-16
III	株主還元強化	P	17-20
	参考資料	P	21-24

# I

2026年12月期第1四半期

## 決算概要

## 業績・財務・KPI

売上高 **817**億円 +1.7%

- + メモリ半導体向け需要の大幅な回復、S&L事業におけるマイルストーン達成によるライセンス収入の計上
- カーボンブラックの販売数量減少と黒鉛電極ドイツ拠点売却で減収

営業利益 **63**億円 ▲8.9%

- + 黒鉛電極事業の構造改革効果、S&L事業のライセンス収入増
- タイ新工場（CB）稼働に伴う減価償却費の負担増、SiCパワー半導体向け製品の需要低迷

EBITDA  
**153**億円  
+5.6%

EBITDAマージン  
**18.8%**  
+0.7pt

FCF  
**27**億円

+62億円

大型の設備投資は一巡、株主還元強化へ

調整後ネットD/Eレシオ

**0.21**倍

信用格付け

JCR **A+** (見通し安定的)

R&I **A** (見通し安定的)

## トピックス

### S&L事業はカソードのフル生産体制へ

- 中東情勢の影響で稼働停止となっていたアルミ電解炉の再稼働に向け、カソードの緊急巻き替え需要が顕在化。中東エリアを中心に、複数の顧客よりカソード出荷要請を受領
- これに伴い、計画していた構造改革を見直し、顧客の操業再開支援を最優先としたフル生産体制へ移行
- 同事業の中長期的な将来構想については、情勢安定後のアルミ市場環境や当社ポジションの変化を改めて分析したうえで練り直す方針

### 2026年12月期の通期の業績予想を上方修正

- 半導体市場の回復と拡大、中東地域でのアルミニウム製錬炉の巻き替え需要増を背景としたファインカーボン、工業炉及び関連製品、スメルティング&ライニングの事業環境好転を受け、業績予想を上方修正

### 「PBR1倍超」経営の実現に向けた課題と方策

- 配当予想の上方修正(2026年12月期)、政策保有株式縮減および2026年5月実施の自己株式取得を通じた株主還元強化、資本効率の向上

(百万円)

	2025年1-3月	2026年1-3月	増減額	増減率
売上高	80,346	81,720	+1,374	+1.7%
営業利益	6,967	6,345	▲622	▲8.9%
経常利益	6,303	6,181	▲122	▲1.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,940	1,556	▲1,384	▲47.1%
EBITDA	14,536	15,348	+812	+5.6%
EBITDAマージン	18.1%	18.8%	+0.7pt	—

1-3月平均為替レート

- 2025年 USD1= ¥152.60      EUR1= ¥160.50
- 2026年 USD1= ¥156.86      EUR1= ¥183.65

※ EBITDA =営業利益+減価償却費+のれん償却費

※ KBR,Inc.及びMWI, Inc.との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定により、2025年数値の遡及修正を実施しております

# セグメント別売上高・営業利益・EBITDA

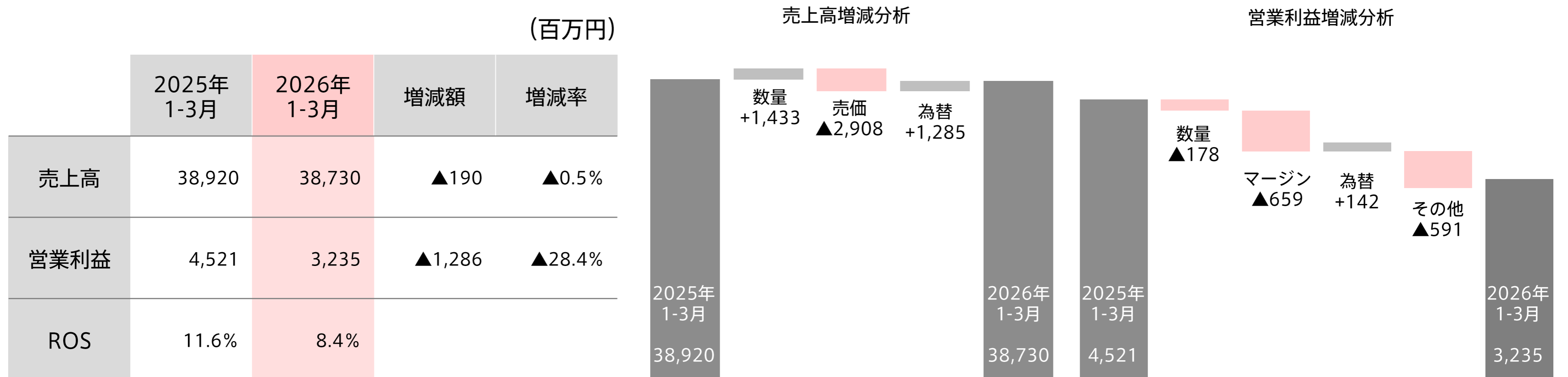
- 黒鉛電極事業は構造改革効果、スメルティング&ライニング事業はライセンス収入により増益
- カーボンブラック事業はタイ拠点の償却費負担増等、ファインカーボン事業はSiCパワー半導体市場の低迷により減益

(百万円)

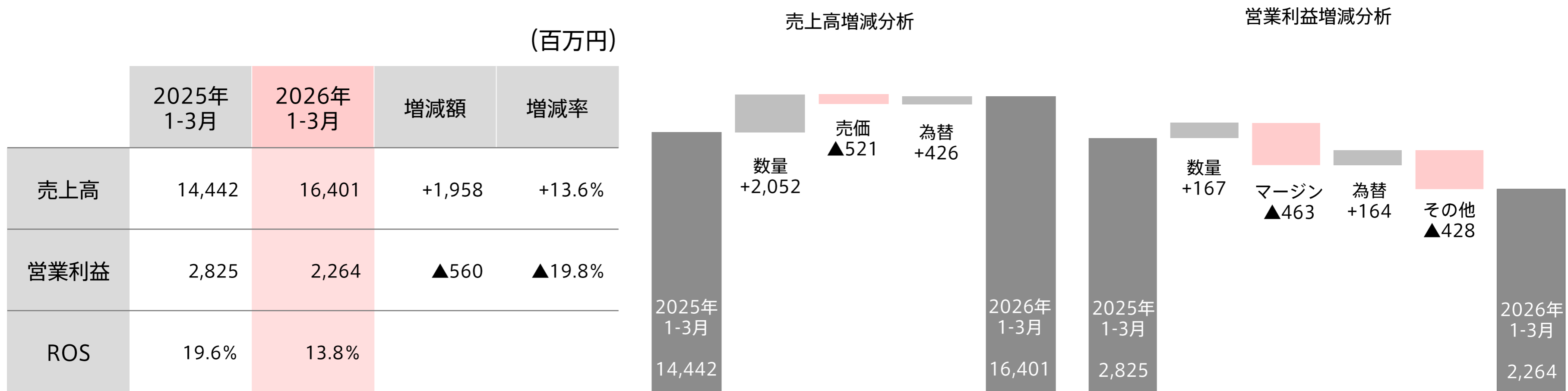
	売上高			営業利益			EBITDA		
	2025年1-3月	2026年1-3月	増減額	2025年1-3月	2026年1-3月	増減額	2025年1-3月	2026年1-3月	増減額
カーボンブラック	38,920	38,730	▲190	4,521	3,235	▲1,286	6,997	6,761	▲236
ファインカーボン	14,442	16,401	+1,958	2,825	2,264	▲560	5,350	4,782	▲568
スメルティング&ライニング	12,932	14,166	+1,234	160	658	+497	1,068	1,804	+736
黒鉛電極	9,383	7,845	▲1,538	▲725	251	+977	575	1,525	+949
工業炉関連	2,125	2,361	+236	470	327	▲143	555	479	▲76
その他	摩擦材	1,960	2,172	+211	—	—	—	—	—
	負極材他	581	42	▲538	—	—	—	—	—
計	2,542	2,215	▲326	125	126	+1	235	224	▲11
調整	—	—	—	▲409	▲518	▲108	▲246	▲228	+18
合計	80,346	81,720	+1,374	6,967	6,345	▲622	14,536	15,348	+812
売上高比率	—	—	—	8.7%	7.8%	▲0.9pt	18.1%	18.8%	+0.7pt

※ KBR,Inc.及びMWI, Inc.との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定により、2025年数値の遡及修正を実施しております

- 2025年第4四半期より新たに連結化されたタイヤ子会社の貢献はあったものの、タイヤメーカーの生産調整に伴う販売数量減少やタイヤ新工場の稼働に伴う減価償却費の増加を補うには至らず、前年同期比減収減益

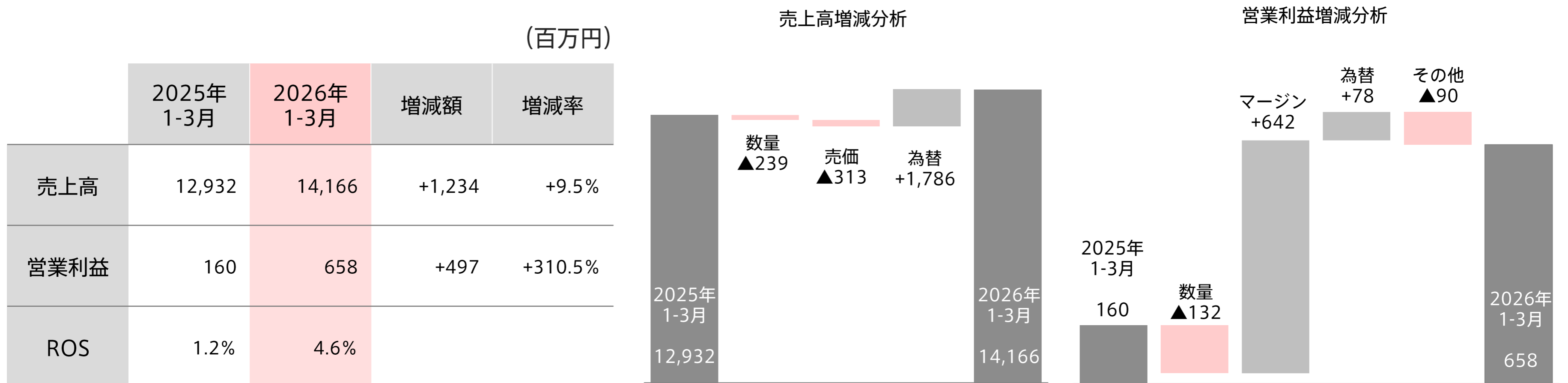


- 主要製品であるメモリ半導体市場向けソリッドSiCフォーカスリングの販売数量増が寄与し、前年同期比増収
- SiCパワー半導体向け製品の受注残剥落により、前年同期比減益

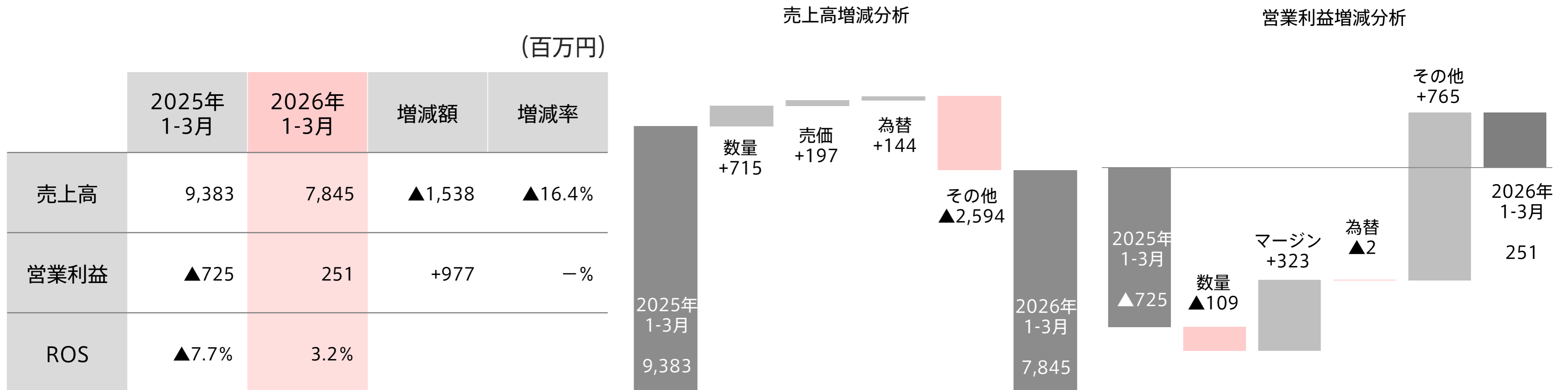


※ KBR,Inc.及びMWI, Inc.との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定により、2025年数値の遡及修正を実施しております

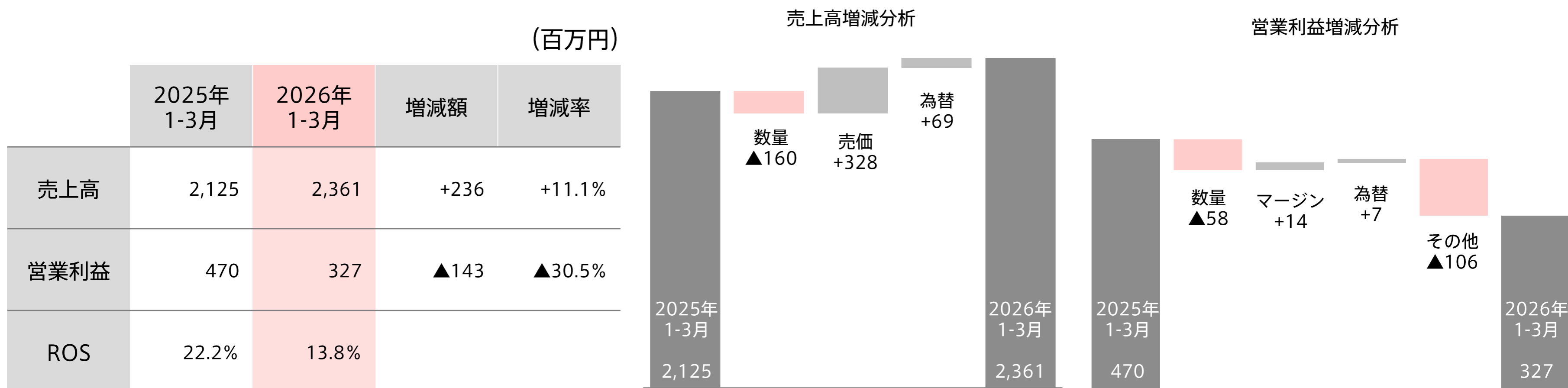
- 次世代環境負荷低減型カソードRuC<sup>®</sup> (Ready-to-Use Cathode) に係るライセンス契約に基づくマイルストーンを達成。ライセンス収入により、前年同期比増収増益
- 出荷量は前年同期比減少、一方足元では中東情勢に起因するカソード需要が急増



- 鉄鋼市況の低調な推移に伴い、電極市況も低迷。加えて、ドイツ子会社売却（2025年第2四半期より連結除外）により前年同期比減収
- 国内工場の生産集約効果の発現、ドイツ子会社売却等の構造改革効果により、黒字転換



- 工業炉及び発熱体の主要市場であるエネルギー関連業界におけるLiB設備投資は停滞。一方、電子部品業界の積層セラミックコンデンサー（MLCC）需要は、特にAIサーバー向けを中心に急増。電力インフラ向け抵抗器の販売も世界的な送配電網の整備進展を背景に好調に推移し、前年同期比増収
- 受注済み大型工業炉案件の仕様変更対応に伴う一過性の追加工事費用計上により、前年同期比減益



## 主なキャッシュフロー項目

(百万円)

	2025年1-3月	2026年1-3月	概要
営業活動によるキャッシュフロー	5,676	11,102	
税金等調整前当期純利益	6,255	6,189	
減価償却費	6,484	7,887	
のれん償却額	1,084	1,115	
売上債権増減	1,670	2,048	} 運転資本 +3億円 (前年同期▲33億円)
棚卸資産増減	▲1,959	▲2,752	
仕入債務増減	▲3,097	1,068	
法人税等の支払額その他	▲4,760	▲4,454	
投資活動によるキャッシュフロー	▲9,108	▲8,309	フリーキャッシュフロー+27億円 (前年同期 ▲34億円)
固定資産取得	▲13,427	▲7,488	
財務活動によるキャッシュフロー	▲910	▲6,999	
借入金増減(CP含む)	3,879	▲28,028	
社債発行・償還	—	24,787	
子会社の自己株式の取得	▲1,176	—	前年同期：TOKAI CARBON KOREAによる自己株式取得 (当四半期末の議決権所有割合は52.6%)
配当金の支払	▲3,202	▲3,202	
現金及び現金同等物期末残高	59,092	60,714	

※ 運転資本=売上債権+棚卸資産-仕入債務

※ KBR,Inc.及びMWI, Inc.との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定により、2025年数値の遡及修正を実施しております

## 主な貸借対照表項目

(百万円)

	2025年12月末	2026年3月末	概要
資産合計	664,033	657,654	
流動資産	258,828	255,554	
現預金	90,156	86,292	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現預金月商比率 3.2倍(前期末3.3倍)</li> <li>・ 棚卸資産 前期末比 +27億円</li> <li>・ 有形固定資産 前期末比 ▲18億円</li> <li>・ 無形固定資産 前期末比 ▲22億円</li> </ul>
受取手形・売掛金	66,781	64,768	
棚卸資産	93,297	96,008	
固定資産	405,204	402,100	
有形固定資産	290,429	288,602	
無形固定資産	61,520	59,229	
投資その他の資産	53,255	54,268	
負債合計	311,187	306,440	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネット有利子負債 1,087億円 (前期末比+8億円)</li> <li>・ 有利子負債 1,950億円 (前期末比▲30億円)</li> <li>・ 直接調達比率 62.8% (前期末61.6%)、長期比率 79.0% (前期末65.6%)</li> <li>・ 短期融資枠 840億円 (前期末比+0億円) :借入実行額 40億円 (前期末比▲20億円)</li> <li>・ CP発行限度枠 600億円 (前期末比+0億円) :借入実行額 225億円(前期末比▲245億円)</li> </ul>
流動負債	126,726	96,007	
固定負債	184,460	210,432	
純資産合計	352,846	351,214	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己資本比率 48.2%(前期末47.9%)</li> <li>・ 調整後自己資本比率※ 53.5%(前期末53.2%)</li> <li>・ ネットD/Eレシオ 0.34倍(前期末0.34倍)</li> <li>・ 調整後ネットD/Eレシオ 0.21倍(前期末0.21倍)</li> </ul>
株主資本	183,111	181,465	
その他包括利益累計額	135,246	135,315	
非支配株主持分	34,488	34,434	
負債純資産合計	664,033	657,654	

※ 調整後自己資本比率、調整後ネットD/Eレシオとは、ハイブリッドファイナンスでの格付機関からの資本性認定を考慮した自己資本比率、ネットD/Eレシオです

# II

**2026年12月期業績予想**

- 売上高は、下期のカーボンブラック事業の回復見通しとスメルティング&ライニング事業の中東特需、ファインカーボン事業のメモリ半導体市場向けビジネスの足元での好調さを織り込み、増収を見込む
- 営業利益は、黒鉛電極事業の価格競争激化がマイナス要因であるが、スメルティング&ライニング並びにファインカーボン事業を中心にトータルで増益を見込む

(百万円)

	前回予想 (2月13日公表)			今回予想			対前回予想		対前年実績	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	168,300	178,400	346,700	170,400	199,600	370,000	+23,300	+6.7%	+47,039	+14.6%
営業利益	11,900	14,100	26,000	10,300	17,700	28,000	+2,000	+7.7%	+2,149	+8.3%
経常利益	11,100	12,900	24,000	9,500	16,500	26,000	+2,000	+8.3%	▲312	▲1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,700	5,900	10,600	5,000	7,000	12,000	+1,400	+13.2%	▲8,078	▲40.2%

為替レート前提 (通期)

■ USD1=¥153, EUR1=¥181

# セグメント別売上高・営業利益予想

16

(百万円)

	前回予想 (2月13日公表)			今回予想			増減額	増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	168,300	178,400	346,700	170,400	199,600	370,000	+23,300	+6.7%
カーボンブラック	78,300	81,200	159,500	81,300	94,400	175,700	+16,200	+10.2%
ファインカーボン	28,400	33,800	62,200	31,500	33,800	65,300	+3,100	+5.0%
スメルティング&ライニング	33,000	33,200	66,200	32,000	42,300	74,300	+8,100	+12.2%
黒鉛電極	17,600	19,100	36,700	15,900	16,300	32,200	▲4,500	▲12.3%
工業炉関連	6,700	6,800	13,500	5,500	8,500	14,000	+500	+3.7%
その他								
摩擦材	4,200	4,200	8,400	4,100	4,200	8,300	▲100	▲1.2%
負極材他	100	100	200	100	100	200	—	—%
その他計	4,300	4,300	8,600	4,200	4,300	8,500	▲100	▲1.2%
営業利益	11,900	14,100	26,000	10,300	17,700	28,000	+2,000	+7.7%
カーボンブラック	6,100	6,200	12,300	4,300	9,000	13,300	+1,000	+8.1%
ファインカーボン	3,000	4,300	7,300	4,100	4,300	8,400	+1,100	+15.1%
スメルティング&ライニング	1,500	1,400	2,900	1,300	3,200	4,500	+1,600	+55.2%
黒鉛電極	800	1,600	2,400	600	400	1,000	▲1,400	▲58.3%
工業炉関連	1,300	1,500	2,800	1,000	1,800	2,800	—	—%
その他	200	100	300	100	100	200	▲100	▲33.3%
調整	▲1,000	▲1,000	▲2,000	▲1,100	▲1,100	▲2,200	▲200	—%

# III

## 株主還元強化

- Vision2030達成に向けた成長戦略推進と、「中期アロケーション方針」に基づいた資本効率改善を進め、長期的な株主価値向上を目指します

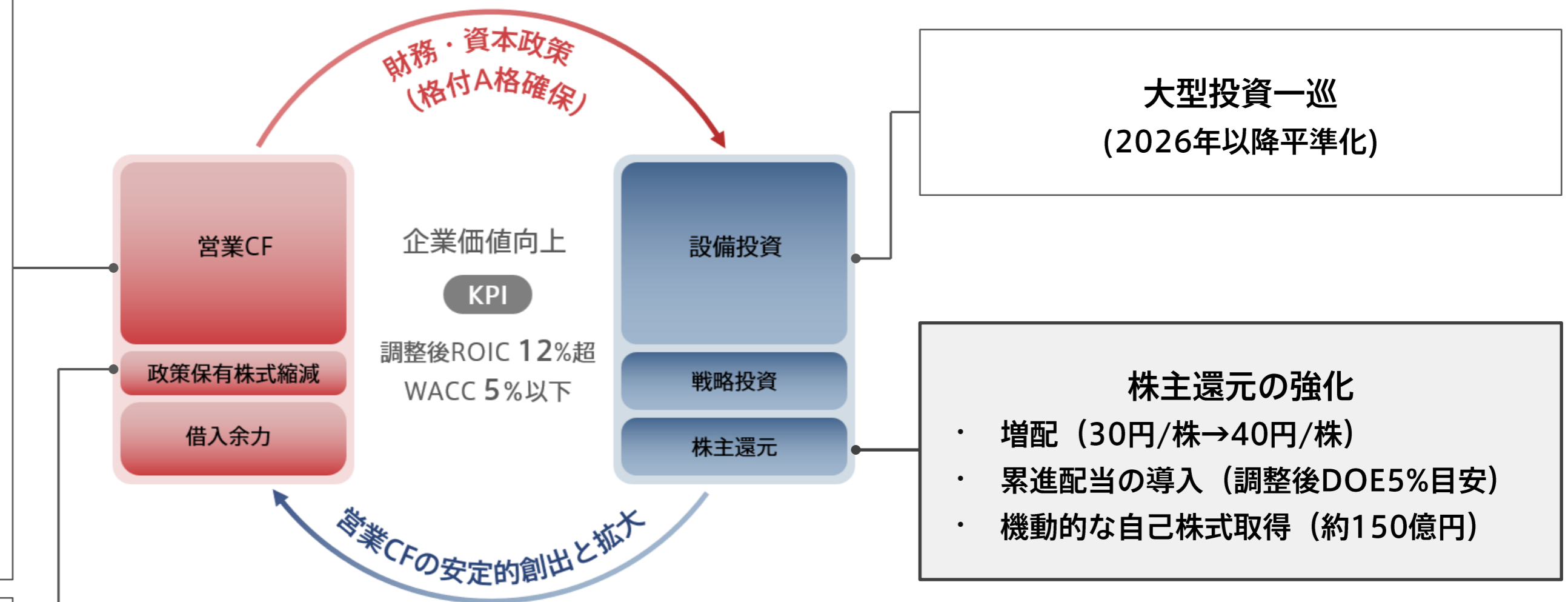
## 中期アロケーション方針 (2026年~2028年)

『Vision2030進捗ご報告』2026年2月13日開示資料より

### 中期CF成長を支える事業環境と施策

- ・ **CB:** 米国における関税政策とタイ拠点の移転完了(2027年~)の好影響
- ・ **FC/工業炉:** AI、データセンター等の市場拡大の恩恵を享受。足元のメモリ市場急回復を牽引役に、SiCリング販売量は過去最高を更新見通し (2026年)
- ・ **S&L:** 中東におけるカソード特需の取込み
- ・ **黒鉛電極:** 日米のAD関税政策や業界再編を背景とした市場環境の適正化。ニードルコークス価格上昇に伴う電極の値上げ

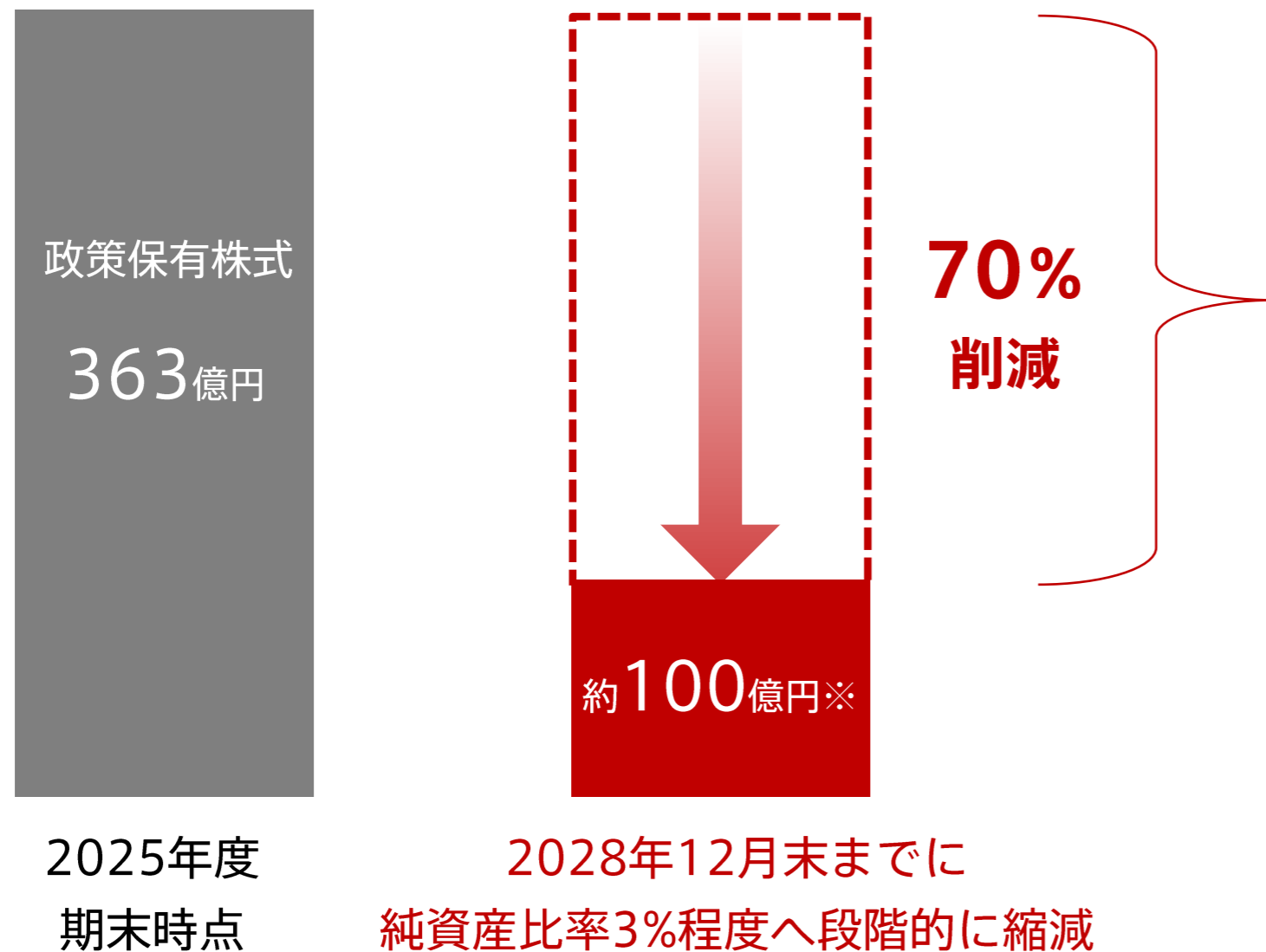
2028年12月末までに7割縮減



※ CF: Cash Flow (キャッシュフロー)  
 ※ AD: Anti Dumping (アンチダンピング)

- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、2028年までに政策保有株式の連結純資産比率10%から3%程度へ縮減
- 縮減による売却益も原資に、自己株式取得を含む株主還元拡充を先行実施

## 政策保有株式の縮減方針



## 自己株式の取得

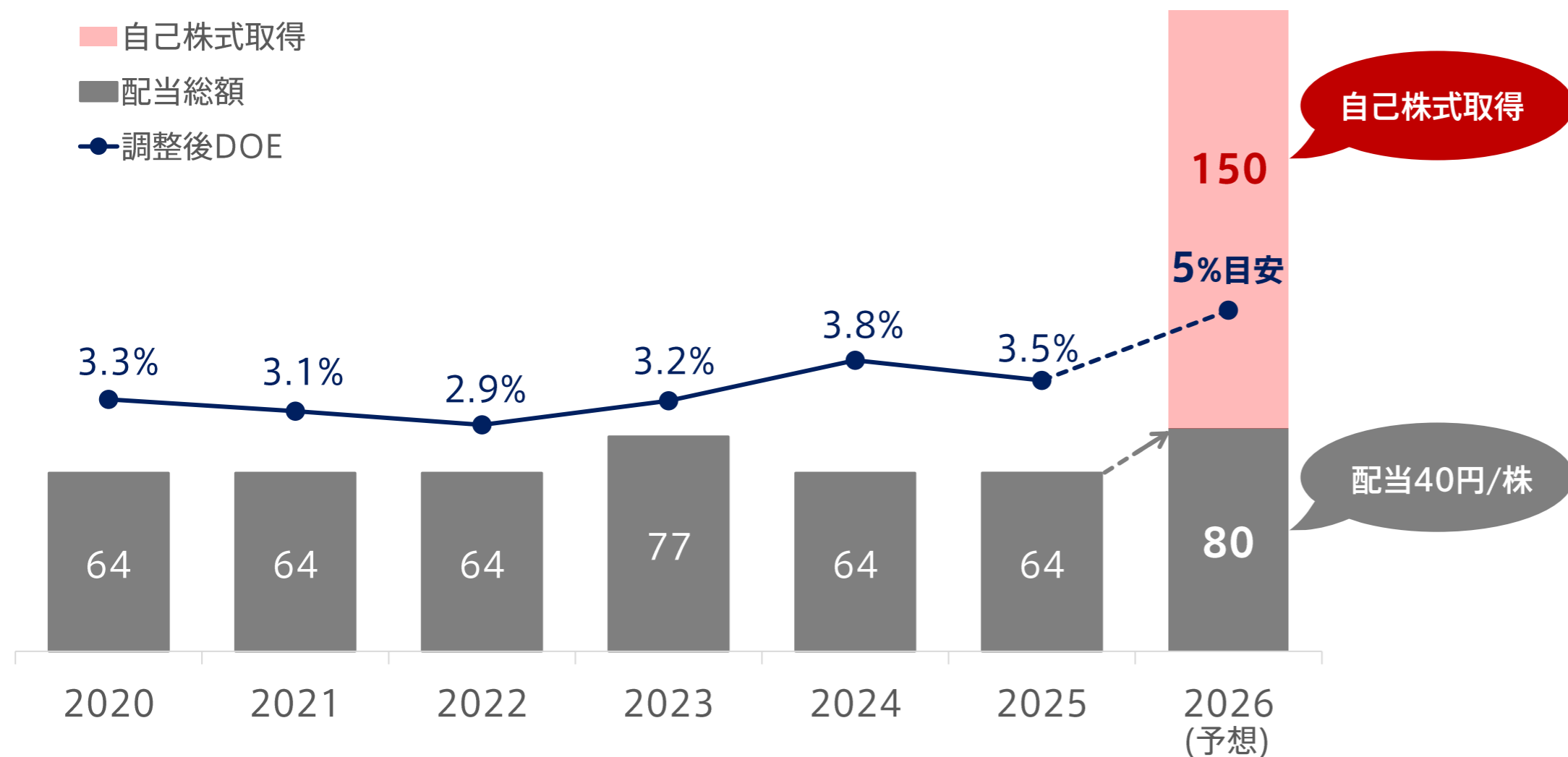
株式の取得価額の総額	150億円（上限）
取得する期間	2026年5月14日で全量買付
取得方法*	一括取得型自己株式取得

- 150億円相当の自己株式取得を短期間で確実に実行すべく、一括で自己株式を取得するFCSR（Fully Committed Share Repurchase:コミットメント型自己株式取得）を採用。いわゆる日本版ASR（加速型自己株取得）

※ 約100億円：純資産の変動によって増減します

- 連結配当性向基準を30%から40%程度に引き上げ、調整後DOE 5%を目安とする累進配当
- あわせて機動的に自己株式取得を実施

株主還元推移図（2020年～2026年予想：億円）



### 新・株主還元方針

毎期の経営成績と経営成績見通し、投資計画、キャッシュ・フローの状況等を勘案しつつ、連結配当性向40%程度、または前期末株主資本を基準とする調整後DOE5%を目安（累進配当）として、いずれか高い方を選択して安定的・継続的に配当を実施してまいります。あわせて高い総還元性向を意識した自己株式取得等を機動的に実施してまいります。

※ 調整後DOE：配当総額÷前期末株主資本

## 參考資料

(百万円)	2022	2023	2024	2025	2026 (予想)
売上高	340,371	363,946	350,114	322,960	370,000
営業利益	40,588	38,728	19,386	25,850	28,000
ROS (%)	11.9%	10.6%	5.5%	8.0%	7.6%
EBITDA	75,572	75,949	61,120	58,443	65,700
EBITDA マージン (%)	22.2%	20.9%	17.5%	18.1%	17.8%
親会社株主に帰属する純利益	22,418	25,468	▲56,485	20,078	12,000
ROE (%)	9.0%	8.6%	—%	6.6%	3.8%
ROIC(調整後) (%)	14.3%	11.5%	6.8%	5.8%	5.4%
設備投資額	48,150	53,316	56,715	36,854	43,100
減価償却費	27,460	29,065	33,028	27,700	33,300
研究開発費	3,171	3,605	4,284	4,319	5,200
有利子負債	171,452	166,642	191,241	198,111	—
ネットD/Eレシオ	0.37	0.27	0.34	0.34	0.34
調整後ネットD/Eレシオ	0.22	0.15	0.20	0.21	0.21
従業員数 (人)	4,378	4,427	4,625	4,436	—
為替レート (JPY/USD)	131.43	140.56	151.58	149.71	153.00

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費

※ ROIC(調整後) = のれん等償却費調整後の税引き後営業利益 ÷ 投下資本 (運転資本+のれん等調整後の固定資産)

# セグメント別業績推移 (四半期ベース)

23

(百万円)

	2025					2026			
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2f	下期	通期
売上高	80,346	77,730	79,260	85,623	322,960	81,720	88,679	199,600	370,000
カーボンブラック	38,920	36,650	35,353	36,168	147,093	38,730	42,569	94,400	175,700
ファインカーボン	14,442	13,271	14,362	13,892	55,969	16,401	15,098	33,800	65,300
スメルティング& ライニング	12,932	14,222	14,440	20,154	61,751	14,166	17,833	42,300	74,300
黒鉛電極	9,383	9,068	9,699	9,422	37,573	7,845	8,054	16,300	32,200
工業炉関連	2,125	2,079	2,940	3,583	10,728	2,361	3,138	8,500	14,000
摩擦材	1,960	2,040	1,955	2,028	7,984	2,172	1,927	4,200	8,300
その他	581	396	507	373	1,859	42	57	100	200
負極材他	581	396	507	373	1,859	42	57	100	200
その他計	2,542	2,437	2,462	2,401	9,843	2,215	1,984	4,300	8,500
営業利益	6,967	6,702	7,162	5,017	25,850	6,345	3,954	17,700	28,000
カーボンブラック	4,521	3,626	3,530	1,457	13,135	3,235	1,064	9,000	13,300
ファインカーボン	2,825	1,585	1,886	1,406	7,704	2,264	1,835	4,300	8,400
スメルティング& ライニング	160	144	434	764	1,503	658	641	3,200	4,500
黒鉛電極	▲725	1,219	1,149	745	2,389	251	348	400	1,000
工業炉関連	470	414	431	951	2,268	327	672	1,800	2,800
その他	125	160	158	172	617	126	▲26	100	200
調整	▲409	▲449	▲428	▲481	▲1,769	▲518	▲581	▲1,100	▲2,200

※ KBR,Inc.及びMWI, Inc.との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定により、2025年数値の遡及修正を実施しております

- 本資料に掲載されている将来見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の仮定を前提としています。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先  
経営企画部 TC-IR.new@tokaicarbon.co.jp



Building a Future of Technology and Trust  
**TOKAI CARBON CO., LTD.**